



2024~2025 年度  
大船渡西ロータリークラブ会報  
**七福人**



会 長 山口 徹  
副会長 今野 義也  
幹 事 谷地 保

= 会長指針 =  
笑顔でロータリー

．．． 例 会 記 録 ．．．

3月第4回例会 2025年3月27日(木)

ソング : 奉仕の理想                      ボックス : 16,000円                      (報告者 磐井公洋会員)  
本日出席率 : 48.48%  前回修正後 72.73% (メークアップ 6名)                      (報告者 志田宏美会員)

★ 会長の時間 : 山口 徹 会長



みなさんこんにちは。まずは春の選抜高校野球、花巻東高校が惜しくも昨年優勝の健大高崎に敗れましたが、ベスト8まで進んだことは素晴らしいと思います。ベスト8の内、東北の高校が2校も残り大阪・中部はゼロ、今回、東北のレベルの高さが見て取れます。また森下水産の社長のご息が、花東で守備はショート、打順は7番で活躍したことはこの度の災害で落ち込んでいる中、明るい話題になったと思います。あっぱれです。

話は変わりますが、先日(3月20日)佐藤ガバナーが大船渡にお越しになりました。奥州国際交流協会の会長もされており、そこからの支援物資を体育センターに届けました。その後大船渡クラブの伊藤会員の案内で総勢9人、2台の車に分乗し、赤崎蛸ノ浦から外口を抜け合足、小路、綾里と見て回りました。北日本水産では部長(ご息子)から被害状況を聞き、避難所の綾姫ホールでは村上館長から避難所の現状の話も聞くことができました。私もそうですがガバナーは被害の大きさに驚き、声になりませんでした。さまざまな場面で被害の状況のお話をされるとの事でした。ちなみに義援金は700万を超えたそうです。当クラブにも気仙沼南RCから10万、福島南RCの大橋PGから5万円頂いております。これから義援金の使いみちを両クラブで検討していきます。

報告ですが、昨日大船渡東高校の宇夫方校長先生がこの度一関工業高校に転任されるので、感謝を込めて、お花を菅野次年度と和賀さんと届けてまいりました。



◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

カルガリー国際大会にて第2520地区ガバナーナイト開催の案内

日時 6月21日17時30分～

場所 Saltlik Calgary (ソルトリック カルガリー) 会費 20,000円

## 2 米山梅吉記念館より

館報45号・賛助会入会の案内と春季例祭の案内が届いています。

例祭 日時 4月19日(土)14時～ 場所 米山梅吉記念館ホール

### ◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

#### 地区ポリオプラス委員紀室綾子会員卓話



本日は、私たちロータリークラブが取り組んでいる「ポリオ根絶活動」について動画を交えてお話しをさせていただきます。

ポリオ（ポリオウイルス）は、かつて「小児まひ」とも呼ばれていた病気で、多くの子供たちの手足に麻痺を引き起こし、最悪の場合、命を奪うこともある非常に恐ろしい病気です。この病気は、いまだに治療法がなく、予防のためにワクチンが必要です。しかし、幸いなことに、世界中でのワクチン接種活動により、この病気を根絶するまで「あ

と少し」となりました。

ロータリークラブは、1985年に「ポリオプラス」というキャンペーンを立ち上げ、ポリオ根絶に向けた本格的な取り組みを開始しました。当初、WHO（世界保健機関）やユニセフなどの国際機関は、民間団体であるロータリーのこの取り組みに対してあまり関心を示しませんでした。しかしロータリーはポリオ撲滅を訴え続け、ワクチン提供や支援を献身的に行うことで、WHOや国際機関の認識が変わり、協力関係を築くことが出来ました。今日ではロータリークラブは中心的な存在となり世界中で根絶に向け大きな成果を上げております。

これからご覧いただく動画では、このようにロータリークラブがどのような経緯でポリオ根絶に取り組んできたかが紹介されています。プレゼンターは、当時のRI会長ジョンF ジャーム氏です。

私たちの世代では、ポリオの予防接種を口からによる経口生ワクチンで受けていました。現在では、日本国内で「五種混合ワクチン」として、ジフテリア、破傷風、百日咳、ポリオ、ヒブワクチン（インフルエンザ菌）が生後2か月から接種され、1980年を最後に国内ではポリオ患者の発症は確認されていません。しかし、世界ではアフガニスタンとパキスタンの2カ国で、依然としてポリオが根絶されていません。このポリオが根絶しない限り、どこの国で再発するか、いつ国内に持ち込まれるか油断はできないのです。そしていまだに治療法がありません。

ポリオ根絶活動には、国際的な協力が欠かせません。しかし、アメリカのトランプ政権が世界保健機関（WHO）からの離脱を表明してしまいました。WHOは、ポリオ根絶を含む公衆衛生の分野で中心的な役割を果たしており、ロータリークラブ、ユニセフ、各国政府と連携して活動を続けてきました。

アメリカがWHOから離脱することで、資金面での援助が失われるとポリオ撲滅の取り組みにも影響する可能性があります。さらに、政権内ではポリオワクチンの承認取り消しを求める申し立てをしていたなどの報道もあり注視が必要のようです。

しかし、国際ロータリーはこの問題に対して「今回のアメリカの表明は新たな課題をもたらしますが、私たちは引き続き予防可能なこの疾患からすべての子供たちを守るために全力で取り組んでいきます」と、

「ロータリーの友3月号」に決意を表明しております。

このようにポリオ根絶に向けた活動は、私たち一人ひとりの支援がより一層必要となっています。

ご寄付のお願いです。

物価の上昇や円安の影響で厳しい状況ではありますが、目標として一人あたり30ドル（約4500円）の寄付をお願いしております。

女性会員の皆様には寄付の賛同をすでに頂いております。ぜひ会員の皆様方にもご協力をお願い申し上げます。

また、「ポリオプラス・ソサエティ」もごございます。このソサエティへの参加は、毎年100ドル（約15,000円）の寄付をお約束いただくものですが、ソサエティメンバーとなりますと登録証とピンバッジが授与される特典があります。

ロータリアンとして、日本をはじめ全世界のポリオワクチンを必要としている子どもたちの命を守るためにどうぞよろしく願いいたします。

